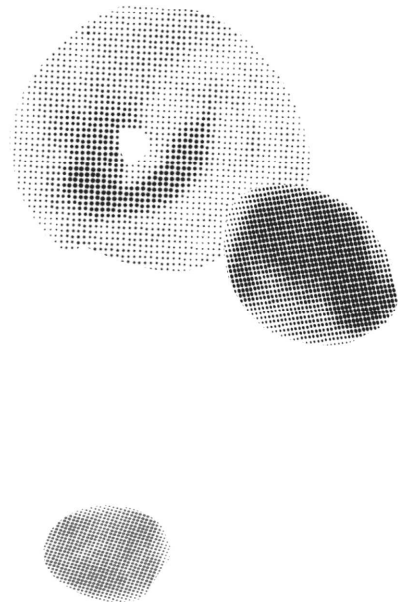
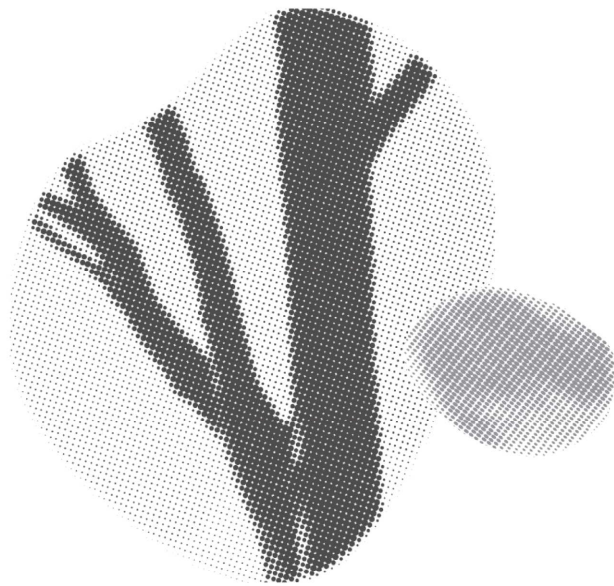




図書館友の会けやき ニュースレター 2019.12.2

特集

大切な私たちの資料について知ろう

— 京都市図書館にインタビュー —

図書館にあるたくさんの資料は市民の財産です。これらを適切に、有効に私たちは利用できているでしょうか。6月下旬から約2カ月間実施された「マナーアップキャンペーン」をきっかけに、資料に焦点を当て、今の京都市図書館の現状について、お話を伺ってきました。

◇ 2019年10月31日 於：京都アスニー会議室

◇ 図書館：佐藤武史氏（京都市教育委員会生涯学習部施設運営担当図書館運営課長）、尾上奈緒氏（公益財団法人京都市生涯学習振興財団本部総務課図書館担当課長）、山口由美氏（同課企画係長）

◇ けやき：永井、島崎、山口、山田、澤田

○マナーアップキャンペーン

けやき：マナーアップキャンペーンをされていると聞き、けやきのメンバーが右京中央図書館やこどもみらい館などに見学に行きました。マナーアップキャンペーンを実施された経緯は？

図書館：これまでも、各館で独自に落書き、切り取りなどの事例を挙げ、「本が泣いています」などとして、本を大切に扱っていただくための啓発活動を行ってきました。今回は、今

年5月に宇治市内などで公共図書館の本が大量に投棄されていた事件をきっかけに、京都市図書館全体でのマナーアップキャンペーンを実施することになりました。

けやき：キャンペーンの内容は？

図書館：落書き、切り取りがされた本を実際に展示したり、本を借りるときはカウンターで手続きがいることや期限内に返却する必要があることを書いたポスターを掲示したりしました。

けやき：書き込みや切り取りがあるということですが、具体例を教えてください。

図書館：本に線を引いているもの、マーカーを使っているものもあります。切り取りは料理など実用本に多く、ページごと切り取られていることもあります。

けやき：キャンペーンに対する利用者の反応は？

図書館：特に大きな反応があったという報告はありません。ただ、こういった被害があることを知っていただくだけで意味があると思っています。

けやき：今回の事件で被害にあった本には、京都市図書館の本も含まれていたそうですが、なくなってしまう本は多いのでしょうか？

図書館：年間、蔵書数（約190万冊）の0.1%ほど（約1900冊）です。毎年の図書整理期間に不明本として判明したものの

うち、3年間出てこないものを紛失本として除籍しています。

けやき：左京図書館はゲート（ブック・ディテクション・システム）があって紛失本が少ないと聞いています。未設置の館にもゲートを導入する予定はありますか？

図書館：ゲートを設置している館では紛失本が0.05%ほどですが、冊数でいうと地域館では年間30冊程度の差なので、費用対効果を考えると利用者にマナーアップを呼びかける方が現実的だと思います。仮に、新たにゲートを設置するのであれば、ICタグを導入することになると思います。

けやき：ICタグを使うと、現在のバーコードを読み取るシステムより貸出手続きが簡単で、タグと連携した退館ゲートにすれば、不正持ち出しも減らせるそうですね。

図書館：しかしICタグを導入するには、長期間休館する必要がありますが、今のところ導入の予定はありません。他市の館長の方が「そういうシステムにお金を使うより、本の購入費に充てたい」と言っておられたが、その通りだと思います。

けやき：利用者は返却期限を守って、大切に資料を扱う必要がありますね。

○資料の弁償

けやき：本をなくしたり、傷めたりした場合は、その利用者に弁償してもらうのですか？

図書館：利用者からの申し出を受けて、その本を図書館でまず預かり、例えば濡れた本なら乾かしてみても、それでも次の方が使える状態にならなければ、連絡して弁償していただきます。同じものを現物で返していただくのが基本です。入手できない資料であれば、金銭での弁償となります。

けやき：CDを借りると解説書が紛失しているものがありますが、コピーを入れることはできないのですか？

図書館：それは、著作権上の問題があってできません。解説書のみの紛失や汚損の場合は、その方に同じCDを購入してもらい、解説書だけを図書館に返していただきます。

けやき：同じ本なのに、京都市のある館の本には地図が付いていて、別の館の本には付いていないことがあったそうです。本の装備は全館統一ではないのですか？

図書館：図書本体は一括で装備しますが、付属資料を付ける付けないといった判断や付け方は各館で対応しています。付録が資料を補完する内容であれば必ず付けるようにしていますが、販促物と判断したものは、本体には付けません。地図で判断が分かれることはあまりないと思います。

けやき：落丁本や訂正があった資料についての取り扱いは？

図書館：落丁本は出版社に言えば取り替えてもらえます。内容の誤りについては、程度にもよりますが、出版元の見解が示されればそれを示して提供します。ほとんどは正誤表などが送られてきます。

○本はめぐる

けやき：ブックリサイクル（図書館の除籍本を利用者が無償で譲り受ける催し）が定着してきていますが、リサイクルに出す本の選定基準は？

図書館：除籍本の中から市民の方に使っていただけたような本を、各館の判断で出しています。料理本などで類書を入れたときや、小説の複本を出すことが多いです。

けやき：ブックリサイクルは館や時期によって冊数に幅がありますね。

図書館：その時の各館の事情によります。

けやき：ブックリサイクルは平成27年に始まったのですか。（詳しい経緯はけやき50号で特集）

今は年間何回開催されていますか？

図書館：全館で一斉に実施するのは、年3回です。初日には行列ができることもあり、館によっては整理券を配布しています。

けやき：利用者から図書館への寄贈本は多いですか？

図書館：館によりますが、多いです。予約がたくさんある人気の本については、積極的に寄贈を呼びかけています。

けやき：寄贈本がブックリサイクルに出ることはありますか？

図書館：はい、寄贈をお受けするときに、市民への提供について承認をいただいたものはリサイクルに出すことがあります。

○雑誌の取り扱いについて

けやき：どの雑誌を購入するかという選定基準は？

図書館：選定基準は各館で決めています。雑誌の休廃刊があった際に、各館がどの雑誌を入れるか、見直しをしています。中央館と地域館では雑誌のタイトル数は違いますが、バックナンバーになれば、取り寄せができます。人気の雑誌はどの館にも置くようにし、地域性も考慮しています。スペースが限られているので、どの雑誌を選ぶかは難しいですが、利用者の声を反映するようにしています。雑誌は図書と違い、リクエストは受け付けていませんが、「ご意見箱」に入れていただいた要望には目を通すようにしています。

けやき：雑誌に限定した予算というものがありますか？

図書館：予算は図書費一括です。

○バックナンバーが見たいときは

けやき：雑誌のバックナンバーの保存方法について教えてください。

図書館：書架と書庫に限りがあるので、雑誌によって3月から3年の保存期間が過ぎたら除籍になります。一方、永年保存する雑誌は京都市図書館で共有保管する雑誌書庫で保存します。雑誌書庫に保存されているかどうかは、ホームページか各館に備え付けの「雑誌・新聞目録」で確認することができます。この書庫にある雑誌はコンピューターの蔵書検索から予約することはできません。カウンターで取り寄せの手続きをすれば、館内で閲覧することができます。

けやき：例えば、左京図書館に雑誌書庫の雑誌を取り寄せた場合、館内でのみ閲覧可能ということですね。古い「こどものとも」や「かがくのとも」などを取り寄せて、図書館のイベント、例えばお話会で使うことはできますか？

図書館：館内での利用方法について特にルールは設けていません。雑誌の状態もありますし、各館で判断してもらいます。

けやき：特に子ども向けの本は、一回でも多く子どもの目に触れてこそ保存する値打ちがあると思います。雑誌書庫の資料を館内でのお話会や読書会で使えるようにしていた

できれば、資料を有効に活用できるのではないのでしょうか。

けやき：除籍の基準は？

図書館：保存期間が過ぎた雑誌をどう扱うかは、全館的に統一していません。捨てるにはしのびない雑誌を単行本扱いに変更することは、各館で個別に判断しています。

○ホームページを使いこなす

けやき：雑誌のバックナンバーの検索は、何年の何月号ということでは検索できないのですか？「こどものとも」は、そのお話の題名で検索できるとよいのですが。

図書館：巻号でしか検索できません。雑誌の特集名などの内容からも検索できるのが理想ですが、現状での目録化作業では難しいです。

けやき：書名などで検索する際、アマゾンのようにあいまい検索はできないのですか？

図書館：それはできません。正確な表記が分からないのであれば、確実な部分だけを入力していただくとヒットしやすいです。漢字があいまいであればひらがなで入力してください。

けやき：ホームページは外国語にも対応していますか？

図書館：利用案内のみ英語、中国語、ハングルに対応しています。それ以外のページは日本語のみです。

けやき：京都市図書館のホームページが平成30年2月にリニューアルされた際、読みたい本や読み終わった本を登録し、読書ノートのように使える「本棚機能」ができると予告があったのですが、実現しなかったのは？

図書館：個人情報のセキュリティに関しても万全に準備してお知らせしましたが、不安に思われる利用者の声が少なからずあり、実施を見送ることにしました。

けやき：リニューアル後、蔵書検索で児童書の絞り込み検索ができるようになって、便利になりましたね。

図書館：他にも書影（表紙写真）がついて分かりやすくなったという声をいただきますが、一つの画面で一覧できるタイトル数が減って、不便だという意見もわずかですがあります。利用者に慣れてもらって、使いこなしていただければうれしいです。

○インタビューを終えて

図書館の資料がどのように扱われているのか、様々な角度からお話を伺うことができた。その中で、京都市図書館のホームページには、市全体、各館別の蔵書数や蔵書構成、選書の基準など、多くの情報が掲載されていることを知った（「京都市図書館の概要」に掲載）。また、蔵書検索にもいくつかの方法があり、目当ての資料にたどり着くためには、コツがあることも分かった。提供されたツールやレファレンスサービスをうまく利用して、資料を有効に活用していきたいと感じた。

☆コラム1 「『こどものとも』をこどものために」

福音館書店の月刊誌「こどものとも」のシリーズは雑誌でありながら1冊で完結した読み物で、長く読み継がれるものであるため、古いものでも利用者の目に触れるところに置いてほしいと、けやきでは要望を続けています。「かがくのとも」「たくさんのふしぎ」についても同様です。京都市図書館では一部単行本扱いをしていたり、雑誌扱いのまま数年分のバックナンバーを書架に並べていたり、対応は各館で様々です。

今回の取材で、「こどものとも」「こどものとも0・1・2」「こどものとも年少版」「こどものとも年中向き」「かがくのとも」「ちいさなかがくのとも」が、雑誌書庫で永年保存されており、カウンターで申請すれば、最寄り館で館内閲覧できることが分かりました。貴重な資料ではありますが、子どもたちのために役立てることができてこそ、資料を残しておく意味があるように思います。

☆コラム2 「雑誌の探し方」

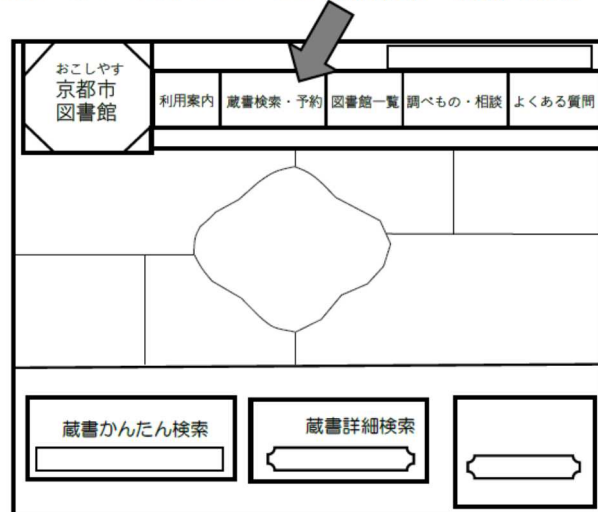
読みたい雑誌がどこにあるか探したい場合は、ホームページの「雑誌・新聞目録」か館内備え付けの同冊子を見ると、京都市図書館のどの館に何年分保存されているか分かります。コンピューターの蔵書検索でバックナンバーを探すこともできます。まず、雑誌名を入力、「対象資料」の「雑誌」にチェックを入れて検索すると、雑誌名が表示されます。さらに該当する雑誌を選択すると巻号一覧が表示されます。貸出できる雑誌であれば、予約をかけて取り寄せる

ことができます。

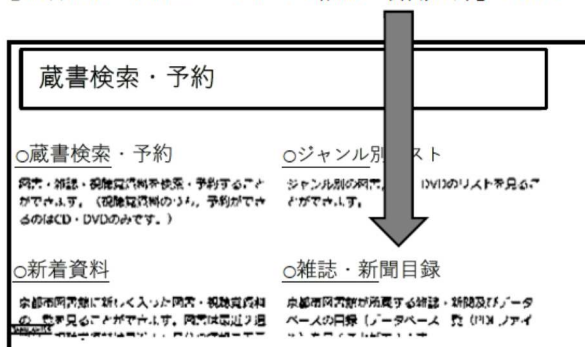
雑誌書庫にある資料は、簡単な書類をカウンターに提出すれば、最寄り館に取り寄せ、館内で閲覧できます。

図書館で取り扱っている雑誌を調べてみましょう。

①ホームページのトップページで「蔵書検索・予約」を選択



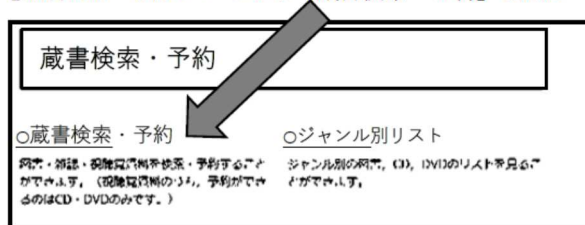
②蔵書検索・予約のページから「雑誌・新聞目録」を選択



③雑誌名、図書館別、種類別で検索できる目録のページが開きますので、目的の雑誌があるか調べられます。

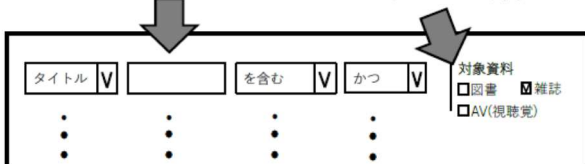
雑誌のバックナンバーを借りてみましょう。

①蔵書検索・予約のページから「蔵書検索・予約」を選択



②検索画面で雑誌名を入力

③図書とAVのチェックを外す



検索結果が表示されます。タイトルをクリックすると巻号一覧が表示されます。

左京図書館読み聞かせ交流会

毎秋、京都市左京図書館主催・けやき企画協力で開催する「読み聞かせ交流会・絵本入門講座」。15回目を迎えた今回も例年通り3回の連続講座とし、のべ94人の参加がありました。

第1回 えほんたいけん・えほんたんけん ～レオ・レオニの絵本の世界～

講師 中川あゆみさん（名古屋女子大学講師） 10月4日

中川先生は『スイミー』は多くの方がご存知だと思いますが、作者レオ・レオニが意図したテーマは何か考えてみましょう」と講演を始められました。

「協力することの大切さでしょうか」と問いかけ、『スイミー』の読み聞かせをした後、作品について解説されました。レオニが伝えたかったことは、レオニの生い立ち、生き方と結びついています。父親がスペイン系ユダヤ人であること。仕事の関係で様々な国で暮らしたこと。第2次世界大戦が始まり迫害を逃れアメリカへ亡命し、グラフィックデザイナーとして成功したにもかかわらず、『あおくと きいろちゃん』の出版を機に絵本作家へと転身したこと。『スイミー』は「自分探しのものがたり」です。レオニにとって「自分の役割」「おのれとは何者か」を知ることが根本的なことであり、「このことは子どもたちも無意識のうちに心にかけていることなのです」とインタビューに答えています。

レオニの自分探しのものがたりを①個性と役割②自分は自分③自分を見失うことの愚かさ④自分の頭を使って考え、生き抜くという4つのカテゴリーに分けて、紹介され

ました。

最後に「自分たちでレオニの絵本から、何か発見してみましょう」と提案があり、2人で1冊ずつ手に取って読み合い、見つけたことを話し合いました。（田中）

透明感のある美しい絵、愛すべきキャラクターたち、ちょっと人生訓を語っているようなテキスト…などがレオ・レオニ作品に対する一般的なイメージではないでしょうか。丁寧に描かれている印象はありましたが、彼がその作品を通して本当に伝えたかったのは「皆とは違う自分の役割を見つける、自分探しの物語」であるというお話に、奥深さを感じました。それはレオニの生い立ちに関係しているとか。レオニの人間らしさをぐっと身近に感じられ、その世界にひきこまれました。

『スイミー』はレオニが実際に小さな魚が集まっているのを見て着想を得たというエピソードや、最近発見された小さな魚たちが集まって大きな魚の形になった化石の写真を見せていただくなど、興味深い話題に心の中で「へえ～」を連発していました。

絵本作りの手法として、画面の、どの位置に主人公がいるかで、そのときの心情を表現しているなど、そうだったのか！と気付かされることも多々ありました。

先生の勤務先である名古屋女子大の大学祭での企画「海の世界をのぞいてみよう」（スイミーの世界を立体的に再現）もご紹介くださり、子どもたちが楽しんでいた様子はもちろんのこと、作成された方々も楽しかっただろうな、と思いました。

レオニ作品は子どもが読んでも大人が読んでも楽しめる絵本だとあらためて実感、じっくりと読み直したいと思います。（大津市・中野）

けやき
の
本棚

No.60

ハリネズミかあさんの ふゆじたく

エヴァ・ピロウ作絵 佐伯愛子訳
フレーベル館 2007年

お父さんとお母さんと、10匹のわんぱく
な子どもたちからなるハリネズミの家

族。お母さんは毎日のお世話にてんやわんやです。冬が近づいてきたある日、お母さんは子どもたちが冬を越せるよう全員分の靴をこしらえようとします。必要なのはなんと20足！お母さんは準備のために森中を駆け回ります。お母さんの冬支度はどんな顛末を迎えるのでしょうか。やさしい色使いと、ハリネズミたちの表情がかわいらしい絵本です。（左京図書館 Y・A）

第2回 前半 やってみよう読み聞かせ

講師 神田千砂さん（左京図書館司書）10月11日

後半 科学絵本・科学読み物ブックトーク

～地面の下には～

講師 島崎真紀子さん（京都科学読み物研究会会員）10月11日

読み聞かせ交流会の2回目前半は、神田司書から読み聞かせの絵本の選び方および読み方について、猫をテーマにした15冊の絵本を駆使して教えて頂き、色々な猫に出会える楽しいものとなった。

集団読みに向く絵本は、会場のすべての子ども達から絵が見えることが大事。色合いやお話に重要な絵がきちんと見えるのかにも注意。また、子どもが理解しやすいような文の量や場面の展開であること。それから、お話に集中できるような、安定した持ち方、読む速度やめくる速度、声の大きさ、間の取り方などを教わった。

子ども達が物語の世界に入り込んだとき、読み手は魔法をかけた感覚になるそう。この本が大好きという気持ちで心を込めて読み、この感覚を味わってみませんかと締めくくられた。

後半は、京都科学読み物研究会の島崎さんによるブックトーク。地面の下の世界が広がっていく縦型の仕掛け絵本で地底旅行にいきましょうと始まり、13冊の本を紹介。地球のスケールがわかる本、大きな断面図で地下の秘密を探る本、断崖絶壁の誕生などがわかる地層の写真本、「地球深部探査船」のノンフィクションの読み物、人間の作った地下都市の本など様々な角度からアプローチ。また、地層の話の所で、大文字山、比叡山はどうやってできたのか、白川砂は何からできているのかなどを紹介。身近なことには、ぐっと興味を掻き立てられる。まとめの『地球』（かこさんし文絵 福音館書店 1975年）では、かこさんの科学絵本

への情熱についても力説。さらに、地下に住むモグラも謎がいっぱいで面白いと3冊紹介。一つの項目に焦点をあてて、掘り下げて読んでいくことも大事と話された。

子ども達に科学の本を紹介する準備として、同じテーマの数冊の本を比べ読みするとよい。同じ事柄でも本によって見せ方や説明が異なるので、併せて読むことで理解が深まり、その場にあった本を選ぶ助けになる。また、子どもの好み（実際の写真が見たい、読み物が好き、など）によって薦める本を選ぶのも効果的であると説明された。これからの活動に生かしていきたい。（山口）

今回、ふたつの講演を聴講させていただき、より本の世界を楽しみ、その楽しさを子どもたちと共有していきたいと強く感じました。

まず、「絵本の選び方・読み方」では、聞き手側の目線で何冊も絵本を見せて頂いたことで、普段の絵本の選び方に基準を持つことができ、コマ割りのページなど、読み方に工夫がものを教えて頂くことで、絵本の世界観を損ねない本読みのヒントを得ることが出来ました。「読み手は物語の世界に子どもたちを連れていく魔法使い」というフレーズにワクワクし、かまないように、ページを飛ばさないようにという今までの読み方を反省すると共に、これからは自分が感じ取った絵本の世界・物語を、もっとのびのび思い切り、子どもたちと一緒に楽しんでいきたいと思いました。

次に、「科学絵本・科学読み物のブックトーク」では、『地面の下には、何があるの?』という、縦長にぐんぐんと広がる本をご紹介頂き、日頃思いを馳せたことのない地面の下、地球の深部をのぞくような体験ができました。さらに、「地面とは地球の外側のことです。」や、「岩ってなんですか?」という言葉にハッとさせられ、身の回りに当たり前

心に緑の種をまく 絵本のたのしみ

渡辺茂男著 岩波現代文庫 岩波書店 2016年

『どろんこハリー』などの児童書の翻訳や創作で知られる著者が、心に「緑の種」をまいてくれた絵本の数々について、3人の息子たちとの日々やこぼれ話を交えて語ってくれます。戦後、ニューヨーク公共図書館の児童図書館員として勤務すること

になった経緯やそこでのマリー・ホール・エッツとの出会いなど、興味深いエピソードが満載です。長男の鉄太さんの子育てについて書かれた「鼓子の読書初め」で始まり、鉄太さんによる付記で終わる文庫版は、いつしか父を包み込む大きな樹に成長した家族の物語を読んでいるかのような印象です。

（左京区 図書館大好き）

にあるものに焦点を合わせてこなかったことに気づかされました。まずは、興味のある分野の科学絵本や科学読み物に親しみ、読み比べをし、私が身を置く世界の一端のその楽しさを、本を通して子どもたちと共有していきたいと思いました。（左京区・宮本）

第3回 小グループに分かれて絵本の読み語り実践交流

10月15日

読み聞かせ交流会第3回目は実践交流会です。参加者が絵本の読み聞かせをしあい、本の感想、学校で行っている実際の様子、悩み等の意見交換を行いました。

参加者は13名、進行・記録係が2名ずつ付き、3つのグループに分かれて行いました。一人10分弱の持ち時間で、活動歴や選書の理由を述べ、実際に絵本を読んでいます。

グループ交流の後は全体交流で、各グループの読まれた本を紹介し、活動する中での悩みを分かち合う時間が設けられました。

学校によって活動形態は違うのですが、「読んだ後に児童に感想を求めるのは良いのか？」「お話の最中に児童が反応するのはどのように対応したら良いのか？」等、誰もが思い当たる悩みが上がっていました。正解は無いのですが、皆さんが経験をもとにした意見を述べてくださいました。感想はあまり求めない、読んでいる最中の児童の発言はある程度受け止めつつ先へ誘導する等、ケースバイケースです。経験を積まないとわからないことがあります。

けやき代表の永井が「学校図書館のボランティアのあり方も変わってきているが、絵本の素晴らしさを伝えていきたいというのは変わらない。みんなで力を寄せ合って活動を続けたい。」と締めくくっていた通り、継続し経験するこ

とがボランティアのスキルアップにつながるのだと思いました。

今回も、休館日に対応してくださった館長さん・司書さん、ありがとうございました。（山田）

小学校のお話の会のボランティア活動に参加をするようになり、丸4年が経ちました。家で、自分の子ども達に布団の中で読むのとは違い、教室で、大勢の子ども達の前で読む時の本の持ち方や、ページのめくり方といった注意点を、4年前のこの講座で勉強しました。そのとき、なるほど！と思ったことを、今年も確認しながら、今年は少し違う角度から勉強しようと、参加しました。

というのも、高学年と低学年という年齢の違いや、読む時間も、朝、夕方と違うこともあり、毎回、選書に悩むからです。ちょっと難しい本、何年生なら大丈夫かな？読んだ後、感想を聞いてみるのはどうかな？という疑問を、グループの方々にあえて伺ってみたところ、皆さん、率直にご意見をくださいました。特に、感想を求めるか、という点では、全体でも話題になり、一人一人の胸に留めておいてもらい、いつかその読書経験が芽吹くことがあるかもしれないね、という意見が多く、改めて、本と子ども達の橋渡し役として大切なことは、思いを押し付けることなく、お話を伝えることなんだな、と明確になりました。年に一度、このように意見交換が出来る場があるのは、大変ありがたく、大切だと思いました。（左京区・小森）

俳句と暮らす

小川軽舟著 中公新書 中央公論新社 2016年

著者は銀行員で俳人、全国紙の俳壇で選者も務める。「飯を作る」「会社で働く」といった場面に分けて、自らの句や著名な俳人の句を織り交ぜながら日常をよむ楽しさをつづる。

「散歩をする」では、「平凡な言葉かがやくはこべかな」の句

に続き、「五七五の小さな詩型におさまった何でもない言葉が、はこべの花のようにつましく輝く」と理想の俳句を語る。私自身、言葉を扱う職業の端くれにいる者として、胸に刻みたいと感じた。

（左京区 S・R）

図書館友の会 けやき の仲間になりませんか

知りたい 調べたい 本の世界を楽しみたい

そんな私たちの望みをかなえ 一人一人の世界を豊かにしてくれる場所

それが私たちの願う図書館です

京都市左京図書館が市民みんなの図書館としていきいきとあり続けるために、私たち市民利用者は何ができるのか考え、活動したいと1999年に「けやき」を立ち上げました。図書館のスタッフとともに、左京図書館はじめ京都市図書館を支え、育てていきませんか。

次のような活動をおこなっています

であいの森

左京図書館のおたのしみ会（毎月第4土曜日 11:00）に協力。
絵本を読んだり、ブックトーク・人形劇やおはなしも。

「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター

毎週木曜日 10:30～12:00、左京図書館絵本コーナーで絵本探しのお手伝いをしたり、絵本を読んだりしています。

誰もが利用できる図書館を考える

図書館の現状を調べ学び、図書館に提案をしています。

ニュースレター編集部

友の会のニュースレター「けやき」を作成し、図書館と利用者を結ぶけやきの活動の情報を発信しています。

事務局

けやきの活動の企画提案。図書館行事に企画・協力。各グループ間や左京図書館との連絡調整を行っています。

絵本学習会

毎月第4金曜日 10:00～。取り上げた絵本をみんなで読み合い語り合う楽しい学習会です。

講演会・学習会

主催または図書館との共催で年に数回、地元の講師を中心に様々な興味深い講演会・学習会を行っています。

◆入会希望の方は年会費500円をそえ、下記郵便振込口座にお申し込み下さい。活動費の寄付も歓迎。

郵便振込口座 口座番号 00920-8-156914 番
口座名称 図書館友の会 けやき

◆入会・活動への参加などお問い合わせは下記の事務局へメールで。

◆図書館友の会けやきホームページをぜひご覧ください。
ニュースレターのバックナンバーも掲載しています。

けやき情報版

図書館で発表会

毎年恒例の「図書館で発表会」。図書館の資料を活用した成果を、左京図書館で展示してみませんか？子どもの工作、手芸、絵や写真、旅行プランなど、図書館の資料を利用して作ったもので、図書館で展示できるものなら何でもOK。たくさんのご応募をお待ちしています。

開催期間：2020年2月13日（木）～3月15日（日）
作品受付・募集期間：2020年1月5日（日）～2月9日（日）

詳しくは、左京図書館へお問い合わせください。

赤ちゃん絵本ふれあいタイム

時：毎週木曜日 午前10時30分～12時
所：左京図書館絵本コーナー

サポーターが個別に絵本を読んだり、絵本探しのお手伝いをしたりします。参加者同士の交流も。

編集後記

なんでも「ネットで予約」。この便利さに慣れてしまって、書架の前に立ち、本との偶然の出合いを楽しむ余裕がなくなっていることを、自分自身寂しく感じています。しかし今回のインタビューで、ホームページなどをうまく使いこなせば、見ることはかなわないと思っていた本を、手に取ることができることを知りました。書庫の中でたくさんの資料が出番を待っています。

（澤田）

けやきでは創刊3年目の8号（2001年）から折に触れ、京都市図書館に現状や課題を尋ねるインタビューを行い、利用者の声も届けてきました。そこで得た情報をニュースレターに掲載、今回が10回目です。図書館を運営する立場の方々と直接やりとりができる機会をこれからも大切にしていきたいと思います。今回は初参加の編集部メンバーも加え、利用者として気にかかるとも尋ねてきました。ぜひ特集をご覧ください。（島崎）

◇けやき 第60号 2019年12月2日

◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部
題字：吉政 富美子 デザイン：伊藤 理恵子

◇発行 図書館友の会 けやき

HP : <http://totomo-keyaki.com>

Mail : info@totomo-keyaki.com